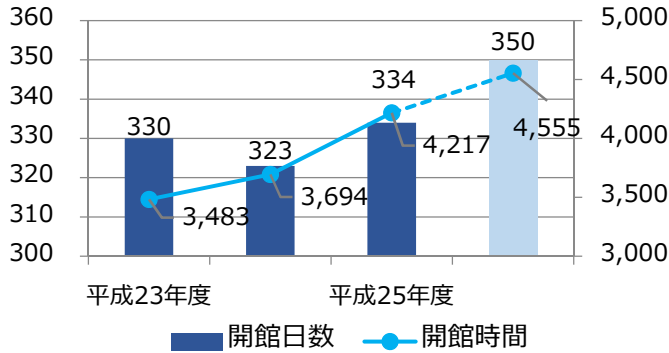


平成 25 年度 筑波大学附属図書館 事業報告

学習支援

中央図書館開館時間の延長試行



平成 24 年度に引き続き、開館時間延長の試行を行い、開館時間をさらに 500 時間拡充しました。その結果、前年度を約 4 万人上回る入館者がありました。

試行の利用実績やアンケートでの意見を踏まえ、平成 26 年度からはさらに開館時間を拡張する予定です。

*平成 26 年度は予想値

文庫・新書を拡充



多面的な学習・教養に役立つ資料の充実を図るため、新たに「中公新書」「講談社現代新書」「新潮新書」「岩波ブックレット」「講談社文芸文庫」の購入を開始し、既刊分 3,000 冊も購入しました。

さらに新書・文庫の配架場所をラーニング・スクエアの一部に変更することにより、利用の促進を図っています。

ライティング支援連続セミナー「知識と言葉をめぐる冒険」を開催



教員等との連携によるライティング支援連続セミナーを春学期、秋学期に各 7 回開催し、304 名の参加がありました。参加者から「今後の学習・研究の役に立った」と好評でした。

10 月 29 日から 31 日に開催された第 15 回図書館総合展のポスターセッションでは、「成長する図書館～筑波大生がラーニング・スクエアでできるようになった 7 つのこと～」と題し、これまでの学習支援活動の成果を報告しました。

アクティブ・ラーニングの促進（ラーニング・スクエアの充実）



平成 26 年 3 月に、中央図書館本館 2 階のラーニング・スクエアをリニューアルしました。

赤と緑のソファのそばには、新たに購入した文庫・新書をはじめ一般的な雑誌などを並べた本棚があり、それらを手にとりゆったりとくつろぐことができます。グループ学習に適した移動可能なテーブルとチェアも配置し、アクティブ・ラーニングを促す空間となっています。

平成 25 年度 筑波大学附属図書館 事業報告

ラーニング・アドバイザーの活躍



学生サポートデスクでの学習相談件数は604件で、前年度に比べて20%増加しました。

加えて、中央図書館オリエンテーリング企画「本の樹海」の実施、図書館の便利な機能を利用者に簡潔に紹介する「小技集」や学生サポートデスクの紹介ビデオの作成、プレゼン支援のためのセミナーの立案・実施など、活発に活動しました。

9月5日から6日に島根大学で開催された第3回大学図書館学生協働シンポジウムでは、これらの活動の報告を行っています。

研究支援

電子リソースのバックファイル等を整備

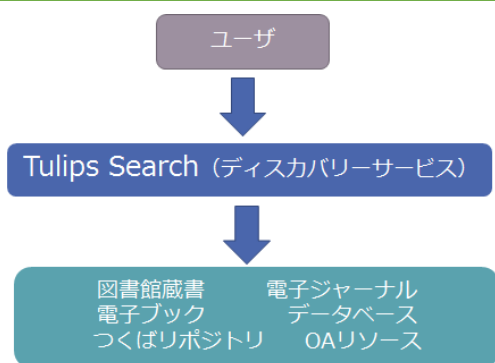


The Lancet
Vol.1(1823)

研究大学強化促進事業経費の配分を受け、以下の電子リソースを整備し、研究支援環境の強化を図りました。

- ・ Nature 関連誌 3 タイトルのバックファイル
- ・ Elsevier 社 ScienceDirect の 23 分野 (合計 1,364 タイトル) のバックファイル
- ・ Web of Science の 1955 年から 1974 年までのバックファイル
- ・ Springer 社電子ブックの 1,000 タイトル
- ・ Eighteenth Century Collections Online (18 世紀英国・英語圏文献集成) の全文

ディスカバリーサービスを導入



電子図書館システムの更新と合わせてディスカバリーサービス (名称: Tulips Search) を導入し、平成 26 年 3 月 3 日から提供を開始しました。

Tulips Search では、電子ジャーナル、電子ブック、データベース、図書館の蔵書、つくばリポジトリ、その他 Web 上の様々な学術情報資源をまとめて一度に検索することが可能です。

加えて、検索結果から直接全文データにリンクされるので、利用者は必要とする情報をより迅速に入手できます。

機関リポジトリと博士学位論文のインターネット公表について説明会を開催



オープンアクセス週間イベント
「学位規則の改正と学位論文の
オープンアクセス」の様子

機関リポジトリと博士学位論文のインターネット公開について 16 の研究組織で説明会を 17 回実施し、760 名の参加がありました。

また 10 月のオープンアクセス週間には講演会を実施し、学内外合わせて 40 名が参加したほか、12 月に芸術系の教員との連携により大学院生を対象とした著作権ワークショップを開催し、80 名の参加がありました。これらにより、機関リポジトリや著作権についての教員、大学院生の理解を深めることができました。

社会貢献

つくばサイエンスアクティビティ (TSA) の改良



<http://tsa.tulips.tsukuba.ac.jp/>

TSA は、研究学園都市内の研究機関・大学等の研究成果をワンストップで検索・一覧できるシステムです。

つくばグローバル・イノベーション推進機構と附属図書館が連携して開発し、平成 24 年 11 月に、物質材料研究機構・産業技術総合研究所・本学の 3 機関の研究成果を対象として、試験的に公開を開始しました。

今年度は、検索対象とする研究機関を拡充するとともに、より使いやすいインターフェースに改善しました。この取り組みは、「大学図書館における先進的な取り組みの実践例」として文部科学省のウェブサイトで紹介されており、今後、研究学園都市以外からの利用の増大が期待されます。

「知の開拓者（パイオニア）たち－筑波大学開学 40+101 周年記念特別展」を開催



<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/exhibition/pioneer40/index.html>

筑波大学開学 40+101 周年記念事業の一環として、10 月 21 日から 11 月 22 日まで貴重書展示室で特別展を開催しました。

特別展では東京教育大学以前の前身校教員の業績を附属図書館所蔵の資料とともに紹介し、学内外から 1,181 名の入場がありました。

特別展ウェブサイトでは、一部資料の電子展示ほか、会期中に開催されたギャラリートークや講演会の動画なども公開しています。

学生団体等の知的実践・交流を支援



「プレゼンひろば」の様子

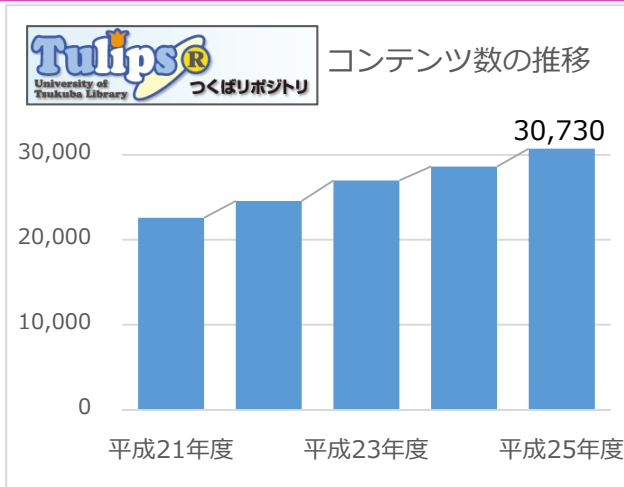
中央図書館本館 2 階のプレゼンテーションエリアで、学生、教職員による様々な企画展示を 8 回実施しました。

また、エントランスホールでは、筑波院生ネットワークのメンバーが、学期中の隔週金曜日の夕方、異分野の人にもわかりやすく自分の研究を発表し、意見交換を行う「プレゼンひろば」を開催しました。

この活動は、学生の自発的な活動を支援する T-ACT（つくばアクションプロジェクト）の平成 25 年度下半期優秀賞を受賞しました。

情報発信

つくばリポジトリの収録コンテンツを拡充



平成 25 年度のつくばリポジトリ収録コンテンツ数は、平成 24 年度から 7.4%増加し、30,730 件に拡充されました。

特に、本学の研究成果の把握とつくばリポジトリへの登録推進のため、学術論文データベースである Web of Science を対象として、本学に関する研究者の研究成果を毎週調査しました。

この調査に基づき本学研究者に登録の許諾を依頼して許諾が得られたものをはじめ、研究者自身からの提供があったものも含め 434 件の学術論文を、つくばリポジトリに登録しました。

Facebook による広報開始



10 月 1 日から、Facebook による広報を開始しました。最大の Facebook ユーザーである学生を主なターゲットとして広報することにより、図書館の存在、サービスをアピールしています。

平成 26 年 3 月末現在、570「いいね！」を獲得、1 投稿あたりでは概ね 300 以上のリーチを維持しています。

また、平成 23 年の東日本大震災を機に開始した Twitter の平成 26 年 3 月末現在のフォロワー数は 4,038 で、今では大学内で影響力のあるアカウントに成長しました。

Facebook: <https://www.facebook.com/tsukubauniv.lib>
Twitter: http://twitter.com/tsukubauniv_lib

図書館ホームページをリニューアル



附属図書館ホームページを 4 年ぶりに全面リニューアルしました。シンプルでわかりやすいデザインは、スマートフォンでの利用にも対応しています。

マイライブラリ（個人向けサービス）の機能も充実させました。特に、「研究個室・セミナー室 予約システム」は、自宅や研究室の PC やスマートフォンから、研究個室やセミナー室の空室情報確認・予約を行うことができ、大変好評です。

<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/>

筑波大学附属図書館
平成 26 年 3 月 31 日